

平成26年度 庄原市児童生徒科学研究の進め方についての研修会

- 日 時：平成26年5月7日（水） 14：00～16：35
- 場 所：庄原市総合体育館 2階 会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の教職員26名

目 的

科学的な態度や能力を育て、問題解決の方法を習得させる科学研究の進め方について研修し、庄原市内各小・中学校の科学研究を推進する。

講話・演習 「科学研究の進め方」

講師：広島県立教育センター 教科教育部 脇田 崇紀 指導主事



【講話の概要】

- 理科の学習と科学研究は互いに補完的な性格をもち、両者があいまって、より理想的な理科教育がなされる。
- 科学研究の進め方のポイント
 - ・ 追究カードの活用による疑問の蓄積
 - ・ 授業内容を発展させた研究
 - ・ 研究内容がよく分かる研究テーマの設定
 - ・ 研究の類型に沿った指導
 - ・ 科学研究作品の評価の視点の明確化 等

【演習の概要】

- 過去の特選受賞作品をもとに、研究のよさについて、グループ協議及び全体交流を行った。

【参加者の声】

- 日常的に身近な事象から不思議や疑問をもたせ、研究につなげたい。研究の動機付けが大切である。
- 「研究の結果」と「考察」を明確にする。「信頼性」のある作品にするために、事実と考えたことや思ったことを区別させる指導が必要である。
- 視点に沿って作品のよい点を評価することで、指導の視点が明確になった。